

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市市名坂児童館		
2 指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク		
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 19,949人(前年度比 105.1%) 令和3年度 18,977人 令和2年度 15,278人		
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 42,675千円 (42,913千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。施設内外の環境美化にも努めており、特に児童館フェンス沿いに飾られた季節の鉢花は地域からも好評である。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>「笑顔がいっぱい」「仲間がいっぱい」「支えあいがいっぱい」のスローガンの具現化を目指して児童館運営に努めた。児童健全育成事業としては、施設内の遊具・図書等の充実に努め、裏庭・畑・花壇等豊かな遊びと自然体験ができる環境整備に努め、コロナへの丁寧な感染対策を施しながら、遊びの指導及び館祭りなど可能な事業を創意工夫し実施してきた。</p> <p>子育て家庭支援事業では、転勤族、核家族世帯の多い地域の事情を踏まえ、乳幼児親子同士の交流・育児の悩み相談・身体を動かし発散の場となるような行事や居場所作りに配慮して計画してきた。乳幼児親子の穏やかな笑顔が広がる行事や時間を提供できた。</p> <p>児童クラブは登録児童137名でスタートし、学校と緊密な連携協力の下、隣接する自然豊かな「学校の森」を活用し、遊びや自然体験をさせることに努めてきた。今後も「子ども笑顔を家庭のリビング」へ広がるよう家庭と連携して運営に励んでいきたい。今後の大きな課題としては自由来館児童の利用促進があげられる。</p> <p>地域交流推進事業としては、市民センターを拠点として3年ぶり開催の「遊びの天国」へ協力し、「乳幼児親子の防災講座」も共催で実施できた。四季折々の花で児童館前の通りを飾り、学校の森灯りファンタジー（3年目）とともに、地域の方々から大いに喜んでいただいた。高評価を頂いた利用者・児童・保護者アンケートでのご意見や地域運営懇談会での貴重なご意見を「地域に愛される児童館をめざし」今後の運営に生かしていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、児童館を知ってもらおう事をねらいとして小学生向けのプログラムを土曜日に行ったことで小学生の自由来館が増加傾向となった。10月からは小学3年生以上対象の「にこにこタイム」の充実を図り、制作したペットボトルタワーは「灯りファンタジー」を彩り、地域の一員としての自覚の芽生えに繋がる活動となった。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、登録制の幼児クラブにおいて工作、ゲーム、運動遊び等、乳幼児に豊かな遊びの場を提供し「びよびよサロン」は子育て支援クラブによる託児見守りの中、ヨガや制作等を通して保護者のリフレッシュと参加者の交流の場となり好評を得ている。参加者が制作したキャンドルやランタンは「灯りファンタジー」を飾り、乳幼児親子と地域住民、子ども達との交流が広がり地域の子育て支援拠点としての役割を担っている。</p> <p>地域交流推進事業においては、11月に開催した「灯りファンタジー」には小学生や乳幼児親子他制作に携わった方々や多くの地域住民が訪れた。またチューリップや季節の花や寄せ植えて児童館前の「MYフラワーロード」を彩る等、世代間交流を通じた児童館の取り組みが地域活性の一翼を担っている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、季節の移り変わりに触れる自然体験等「がきんちよ四季楽好」での縦割り活動を通して主体的な遊びが可能となっている。「学校の森」の豊かな自然環境で子ども達が遊びを創り出し主体的に生活している。また、児童クラブ通信の定期発行により児童クラブの活動を保護者に伝え子どもの様子を共有している。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課